

小樽市立北陵中学校

小樽市清水5番1号

TEL 0134-24-5500

KOMPEKI

紺碧

《校訓》
よりよく創る

《教育目標》

小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

日本人の心 ～ ワールドカップ カタール大会 ～ 校長 岡本 清豪

4年に1度のサッカーのワールドカップがカタールで開催されました。日本代表は、初戦のドイツに勝利したものの第2戦のコスタリカに敗北。そしてグループ最強のスペインとの最終戦。前半早々に先制点を取られ、圧倒的に不利な試合展開に絶望しかけていました。ところが、後半に日本が2点を決めて見事勝利。グループリーグを首位で突破という快挙でした。ドイツとスペインに勝利するなんて、世界中の誰が想像したでしょう。クロアチアにはPK戦の末、惜しくも破れベスト8の夢は持ち越しとなりましたが、日本代表のドラマチックな試合の連続に、見ていて胸がとても熱くなりました。



さて、日本代表は試合以外でも話題にのぼっています。左の写真は、FIFA 公式ツイッターが公開したドイツ戦後の日本のロッカールームの写真です。選手が着用したビブスまできれいに畳まれ、試合前と区別できないほど、きれいに整理されています。ツイッターには「ピカピカだ。Domo Arigato」と書かれています。これは、ドイツを相手に歴史的勝利を収めた後のこと。きっと、代表メンバーは歓喜に湧いていたはずですが、それでも選手は自分たちで整理整頓しました。11羽の折り鶴と「ありがとう」の言葉と一緒に。

海外メディアから「なぜこのようなことが可能なのか」と質問された森保監督は「日本人にとっては当たり前のこと。私自身、『帰る時は来た時よりも美しく』と教えられてきた。日本の文化として、自分たちが使ったところはきれいにしておいて帰るのは当たり前で常識的なこと」と説明したそうです。

さらに右の写真は、コスタリカに敗れた試合後、日本サポーターがス

タンドのゴミ拾いをしている様子です。これを世界各国のメディアが取り上げ、「カタールの猛暑の中での立派な行動は、またしても広く称賛されることとなった」と紹介されました。SNS 上では「この人たちはワールドカップの真の勝者だ!」との声が寄せられました。そして、これらの日本の行動が、多くの他国のチームやサポーターにも広がっていきました。

たとえ自分が出したゴミでなくても拾ってきれいにしてから去る、後の人が気持ちよく使えるようにきれいにする。そんな日本人の行動を誇らしく思います。こうした日本人の道徳心や思いやりは、世界からリスペクトされています。同じ日本人として、この日本の誇りを大事にしていきたいですね。

北陵には33Skillとして、1年生「場をきれいにできる」・2年生「自分を大切にできる」・3年生「地域に貢献できる」という項目があります。これらはまさに、そんな道徳心や思いやりにつながるSkillです。

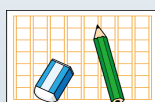
例えば、自分の使う部屋・家の中をきれいにする。次に自分たちの教室、更に自分たちの学校・地域と範囲を広げ、誰もが気持ちよく過ごせる小樽市へ、北海道へと繋げていければ素敵なおことですね。それは、きっと、その場所をきれいにするだけではなくみんなの心を磨くことにも繋がります。そしてその心は必ず自分を成長させ、他者からも認められ、みんなに幸せをもたらしてくれるはずです。



ここがすごいぞ！北陵生！

文化・芸術の分野において、3年生を中心に大活躍をしています。作文・スケッチ・感想文のコンクールにおいて、下のように見事！入賞しています。みなさん、すごいですね！この勢いで！冬休み、そして3学期もいきましょう

- ・第72回社会を明るくする運動作文コンテスト
札幌地方推進委員会 優秀賞 3年3組 石坂なつ
入賞 3年3組 石坂なつ 3年2組 伊藤心海
2年2組 木村瑠夏
- ・第13回歴史的建造物スケッチ会2022
議長賞 3年2組 山田香音 一等 3年1組 石本絢音
三等 3年2組 石川琴
- ・第62回小樽市青少年読書感想文コンクール
入賞 3年2組 荒井駿太
- ・第41回全国中学生人権作文コンテスト
入選 2年1組 藤井歩乃花



いじめ防止サミット開催

12月5日(月)に、北陵中・手宮中央小・高島小の3校の生徒会・児童会でいじめ防止サミットをオンラインで実施しました。テーマは①「寄り添う気持ちから行動へ」を意識した取組②いじめの未然防止やネットいじめについての取組③

連絡時間
朝の欠席等の
電話連絡は、7
時30分から8
時10分までに
お願いします。

北陵中学校区で共通した取組の3点について真剣な話し合いが繰り広げられていました。この活動がきっかけで小中学生が自分たちの学校生活よりよくするために取組んでいきます。



箏の授業

11月21日(月)～22日(火)にかけて本校体育館において、1年生を対象に箏の授業を実施しました。今年度は、文化庁の事業から外れたため、PTAの学習支援費から補助をして頂き、実施することができました。次年度以降も、日本の伝統文化継承のため実施します。



交通事故防止について

○歩行について

冬道の場合、車は止まりたくても止まらない事が多くなります。降雪中や夜間など視界不良の時は特に、歩行者も安全を確認しながら通行しましょう。

○遊びについて

道路脇の雪山での遊びは大変危険です。絶対にしないようにしましょう。



赤い羽根募金

11月17日～22日に生徒会の呼びかけで、赤い羽根共同募金の活動が行われました。4日間という限られた期間でしたが、17,185円の厚意が集まりました。



ありがとうございました

2学年「届けよう“チカラ”プロジェクト」(子ども服回収)では、2,263着もの服を難民の方に発送しました。子どもたちは本活動を通して、世界的課題に目を向けることはもちろんのこと、地域の方々の温かさにも触れることができました。ありがとうございます。



おねがい

交通事故防止の観点から校区内の運転速度は低速を維持するようお願いいたします。

1月の行事予定

日	曜日	行事予定 ☆北陵学習室開講日 (S.C=スクールカウンセラー)
1	日	元旦・学校閉庁日(3日まで)
2	月	振替休日・学校閉庁日
3	火	学校閉庁日
4	水	
5	木	中体連スキー大会
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」発表会
11	水	始業式(1,2年生3時間授業) (3年生5時間授業) 職員会議
12	木	3年生学年末テスト ☆
13	金	3年生学年末テスト ☆
14	土	吉村杯バレーボール大会
15	日	吉村杯バレーボール大会
16	月	校内研修(5時間授業)
17	火	PTA三役選考委員会☆
18	水	全校協議会・専門委員会 S.C.
19	木	新入生保護者説明会(15:30～) ☆
20	金	防災教室(2年生) ☆ 全道中体連スキー
21	土	英語検定試験 全道中体連スキー
22	日	全道中体連スキー
23	月	小樽市教育研究会(5時間授業) 3年生成績配布
24	火	スキー授業(2の1) ☆
25	水	スキー授業(2の2) ☆
26	木	スキー授業(1の1) ☆
27	金	☆
28	土	
29	日	
30	月	小中合同授業(5年生) ☆
31	火	スキー授業(1の2) ☆

第8回小樽音読カップ

11月12日(土)小樽市民会館で第8回音読カップが開催されました。本校からは1年2組の山道桜さんが出場しました。「西の魔女が死んだ」を題材に市内の中学生と読み方や声を工夫した音読を競い合い、聞き手に内容を正確に伝えていました。立派です。



子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

・いじめられている・・・
・学校に行きたいのに行けない・・・
・誰かに聞いて欲しい・・・
そんな時に相談できる窓口があります。

● 電話相談

0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

● メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

※至急時は電話相談を利用してください。